



الخطة الإستراتيجية لجامعة بنها 2017-2022
(الإصدار الثاني)
STRATEGIC PLAN OF BENHA UNIVERSITY 2017-2022
(Second Edition)

معاً .. نبني المستقبل .. نحو العالمية
Together ... Building Future ... Toward Globalization

الخطة الإستراتيجية لجامعة بنها ٢٠١٧ - ٢٠٢٢ معاً .. نبني المستقبل .. نحو العالمية

Strategic Plan of Benha University 2017 – 2022

ベンハー大学の戦略計画 2017 – 2022.

ベンハ大学戦略的な計画 2017- 2022 の概要 作成者名簿

Dr. Gamal Elsayed Abdel-aziz

大学戦略計画部長

Dr. Mona Salem Mahmoud Zaza

カリキュラムと英語教育教授法と教育技術教授

Dr. Hesham Hassan

教授

Dr. Ghada

准教授

目次	ページ 番号
大学総長よりの挨拶言葉	
大学戦略的計画部門局長	
ベンハー大学進展の段階	
ベンハー大学総学部	
ベンハー大学の基本的情報	
ベンハー大学総学部における特殊な研究センター	
ベンハー大学の特殊な分野	
ベンハー大学視野、任務と価値観	
2017-2022 重要な計画目標の概要と統計	
2017-2022 重要な計画目標の狙いと事業	

Prof. Elsayed Yousef Alqady

大学総長からの挨拶



大学教育の重要性及び社会を奉仕する化学研究や卒業生先駆者役割を強要するために、我々は、大学総合能力や、研究センターを開発するのに熱心であった。

教育的で、科学的な計画、規則とカリキュラムを更新することに、ものすごい懸念も支払われた。

これに加えて、我々は学生の活動を世話する。そして、雇用市場で競争することができる優秀な卒業生を養成するために優秀な学生を支援する。経済的、社会的、科学的な研究状況の安定した変化により、国内および国際的なレベルで、現実に適用できるような内外の変数についていくことを、大学の戦略計2016-

2022を更新することは、要求される。大学の総合設備は、それを達成するように指示される。以前の大学戦略計画の問題を探索します

2016-

2022の計画では、発達した規則と科学的なカリキュラム

Strategic Plan of Benha University 2017 – 2022

ベンハー大学の戦略計画 2017 – 2022.

に照らして新しい学部を建設するために努力を延長する。大学も、周囲のコミュニティ、例えば、歯科、医学、薬学、物理療法、女子物理教育学、と専門病院の必要を満たす一群の科学的な専門化を行おうとする。

これに加えて、市民のための優れた公共医療と高品質医学人を紹介するために、大学病院は発展する。このように、医学政権は必要とされた器材のものを備えて、大学設備の特別な自然研究センターと研究所を起動され、開発される。

地域内、国内の分野および国際的な協力合意とプロトコルは、署名される。大学は、大きな国家プロジェクトに関与して、公認されるために設備を支えて、国際化の方へ公認する。手短に言えば、それは、大学を国家的および国際的な列の中の先進の位置に置くことを保証する戦略的な計画通りに使命と視野を成し遂げようとする。

Dr. Elsayed Yousef Alqady

大学総長

Prof. Gamal Elsayed Abdel-aziz

大学戦略計画部門長



大学の現在および将来の位置づけには、大学の目標と使命を達成するための戦略的および実施的な計画が必要である。さらに、計画とその代替案のパフォーマンス指標をモニタリングすることは、大学が提供するサービスのレベルを確保し、教育、認知、研究、社会的使命を達成し、地方、国内および国際的地位を高める正しい方法である。

それに加えて、文化を発表する中で、大学の戦略的および実施計画を立てるための訓練を受けた幹部を育成することは、継続的にチームとして働き、大学や学部のすべての行政機関で制度的思考を統合するという現実的な保証になる。管理された学術的なプロのリーダーの育成と大学奉仕のレベルを上げ促進させるために、大学同僚の効率化、重要性に十分気づいている。短期的でも長期的でも計画を成し遂げることで、戦略的な計画手段を促進させ、これは客観的な結果に至る。

大学の活動に結びつけることは、大学進展とその発展の橋渡しとなり、リーダーシップを取る人にとって理想的な道である。特定の明確的、戦略的、現実的なかなりの指標がある適用可能な実施計画なしで、これは達成し得ないのである。

一緒にその優秀な幹部の指導の下、その使命を成し遂げるために、我々は国際化へ向けて親愛なる大学の将来を創造する。

大学同僚の効率、重要性に十分に気づいている、管理で、学術的で、プロのリーダーの準備と大学奉仕のレベルを販売促進するために短期的で、長期的でも計画を成し遂げる

Strategic Plan of Benha University 2017 – 2022

ベンハー大学の戦略計画 2017 – 2022.

ことでの戦略的な計画の方法を販売促進するために、これは客観的な結果に至る。

大学の活動に結ぶことは、大学進展と発展の橋と優秀さとリーダーシップの方のその理想的な道である。特定のある明確的で、現実的で、かなりの指標がある適用できる戦略的および実施計画なしで、これは達成されないのである。一緒に、その優秀な幹部と指導の手によってその使命を成し遂げるために、我々は国際化の方へ親愛なる大学の将来を造り得る。

Dr. Gamal Elsayed Abdel-aziz

大学戦略計画部門長

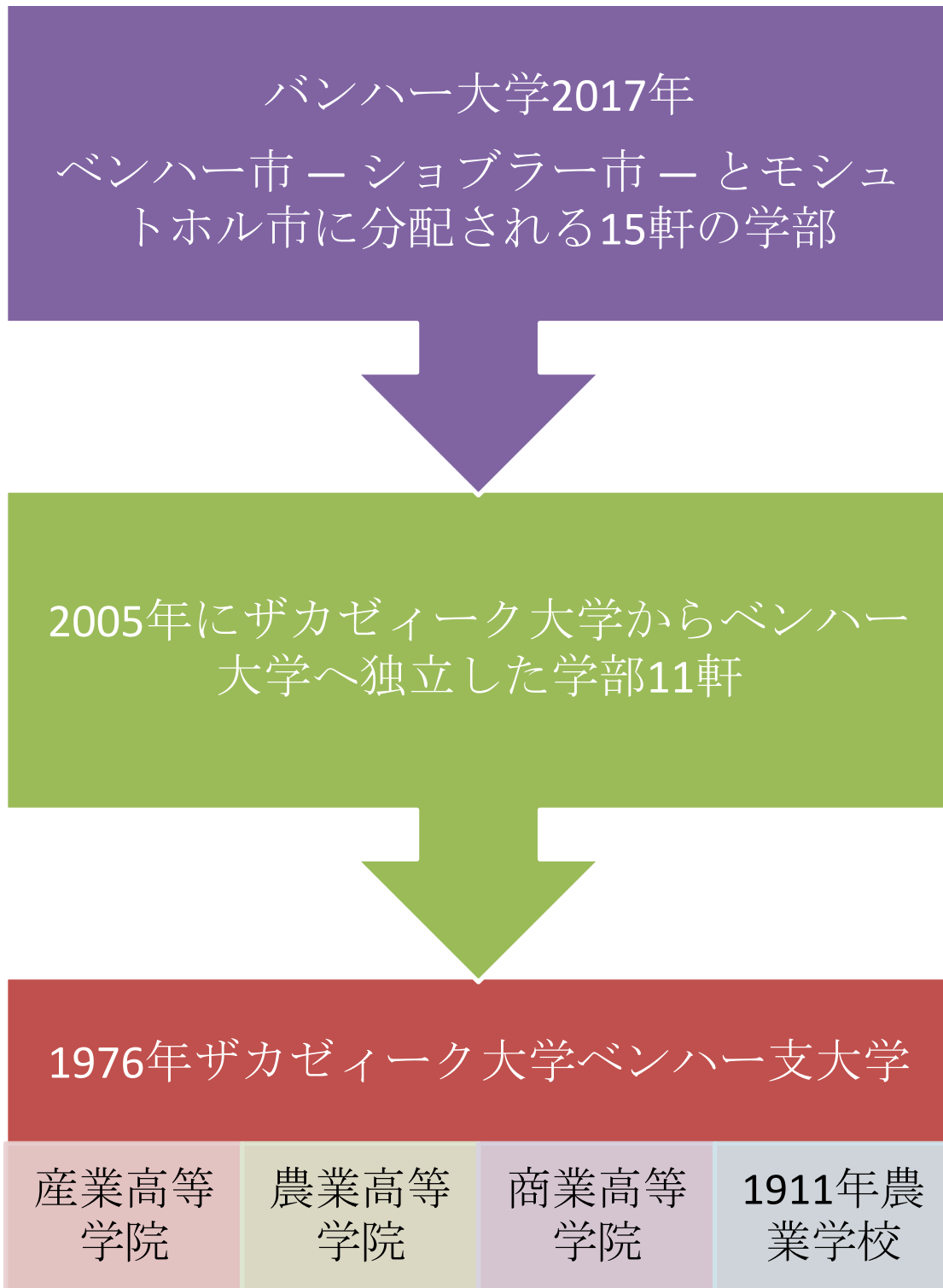
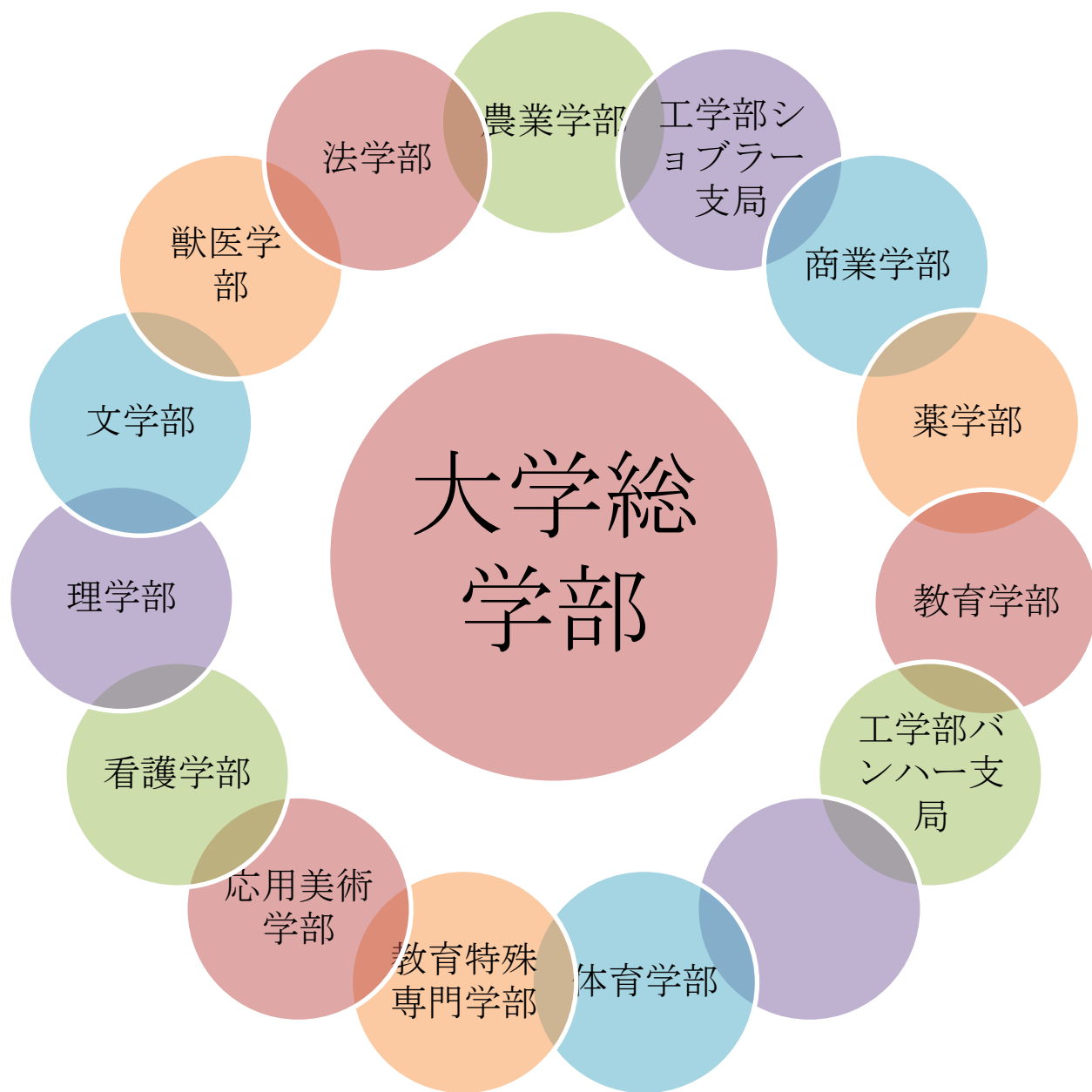



図 (1): 大学開発段階



Strategic Plan of Benha University 2017 – 2022

ベンハー大学の戦略計画 2017 – 2022.



ベンハー大学の現状について

Strategic Plan of Benha University 2017 – 2022

ベンハー大学の戦略計画 2017 – 2022.

図 (1): 2016/2017 年、大学の各学部・学科における卒業生と教育プログラム

番号	学部	学部生の段階				大学院の段階				
						No. of programs				No. of courses
		No. of department	No. of years	No. of programs	No. of courses	Diploma	M. A.	Ph. D.	Total	
1	文学	10	4	13	501	13	20	19	52	620
2	商業	4	4	4	85	24	6	5	35	385
3	教育	5	4	12	102 6	20	7	7	34	245
4	体育	10	4	3	132	1	2	1	4	50
5	特殊教育	6	4	6	452	-	30	30	60	135 5
6	看護	6	4	1	43	-	6	6	12	68
7	法学	10	4	2	74	8	1	1	10	64
8	農業	13	4	13	445	17	23	23	63	742
9	薬学	30	6	1	66	19	30	31	80	586
10	獣医学	21	5	3	136	33	26	26	85	198
1	理学	7	4	22	101 6	18	37	37	92	408

1										
1 2	ショ ブラ ーの 工学	6	5	11	632	47	35	35	117	120 0
					691	30	43	23	96	607
1 3	ベン ハー の工 学	4	5	7	280	8	6	6	20	380
1 4	I T 学	4	4	4	84	5	4	4	13	167
1 5	Appl i 応用 美術	8	5	8	685	4	4	4	12	285
	総数	144	-	110	634 8	263	271	249	739	7360

図 (2)： 2016/2017 年ベンハー大学各学部における学生総数

番号	学部	学部生	大学院生	総数
1	文学部	10983	10420	12025
2	商業学部	12834	1226	14060
3	教育学部	8070	2228	10298
4	法学部	11718	3339	15057
5	体育学部	2007	764	2771
6	特殊教育学部	3541	113	3654
7	看護学部	1436	201	1637
8	農業学部	2836	210	3046
9	薬学部	3035	1034	4069
10	獣医学部	2009	803	2812
11	理学部	2370	289	2659
12	ベンハーの工学部	2662	105	2767
13	ショブラーの工学部	6020	752	6772
14	IT 学部	1309	106	1415

15	応用技術学部	1521	33	1554
	留学生総数	4288	360	4648
	社会人特別講座総数	27588	0	27588
	総数	104227	12605	116832

図 (3) 2016/2017 年ベンハー大学各学部における教員総数

No	学部	教員枠				助講師			スタッフ・メンバ の総数	助手
		教授	准教授	専任講師	総数	助講師	助手	総数		
1	文学部	40	33	58	131	38	60	98	229	204
2	商学部	24	19	45	88	46	54	100	188	233
3	教育学部	59	20	73	152	14	36	50	202	185
4	法学部	16	6	8	30	18	11	29	59	170
5	体育学部	12	16	59	87	44	26	70	157	117
6	特殊教育学部	10	24	74	108	32	29	61	169	77
7	看護学部	3	17	66	86	24	32	56	142	128

8	農業学部	131	30	43	204	43	37	80	284	433
9	薬学部	458	210	397	1065	270	129	399	1464	337
10	獣医学部	84	25	41	150	54	44	98	248	330
11	理学部	106	55	118	279	50	52	102	381	220
12	ベンハーの工学部	17	14	87	118	80	103	183	301	270
13	ショブラーの工学部	135	47	193	375	119	130	249	624	300
14	IT学部	3	5	18	26	25	27	52	78	90
15	Applied Arts 応用美術	6	5	17	28	5	6	11	39	64
総数		1104	526	1297	2927	862	776	1638	4565	3158

図 (4)： 大学各学部における学生当りにスタッフ・メンバーの比率

番号	学部	学部生	教員役	助手役	修士と教員比率	修士課程と各助スタッフの比率
1	文学部	10983	131	98	84	112
2	商学部	12834	88	100	146	128
3	教育学部	8070	152	50	53	161
4	法学部	11718	30	19	391	404
5	体育学部	2007	87	70	23	29
6	特殊教育学部	3541	108	61	33	58
7	看護学部	1436	86	56	17	26
8	農学部	2836	204	80	14	35
9	薬学部	3035	1065	399	3	8
10	獣医学部	2009	150	98	13	21
11	理学部	2370	279	102	8	23
12	ベンハーの工学部	2662	118	183	23	15

13	ショブラー の工学部	6020	375	249	16	24
14	IT 学部	1309	26	52	50	25
15	応用技術学 部	1521	28	11	54	138

参照標準	参照標準より多い	参照標準より少な く
------	----------	---------------

ベンハー大学における研究センターと地域および社会的
報酬学会に導入する学部

研究センターは、大学当局に加入した。

1. プロジェクトの管理装置
2. 戦略的な計画の中央単位
3. 大学都市の公共中心
4. 印刷、出版と配布のセンター
5. 外国語の公益事業センター
6. コンピューティングと情報処理システムの公共中心
7. 情報と研究サービスの公共センター
8. 協議とエンジニアリングと技術的な作品センター
9. 将来の研究センター
10. スタッフ・メンバーの能力のセンターを発展させること
11. 人的資源センター
12. ゲストハウス単位

13. 会議と祝賀の大きなホール
14. 売買
15. 優秀な学生の世話の単位
16. 情報テクノロジー単位

センターと単位は、医学部に加入しました

17. 集中治療室

センターと Units は、残りの能力に加入しました

48. 人間の研究のための公共センターと美術学部の地域奉仕活動
49. 教育学部の情報と教育で、精神的で、環境部門のセンター
50. 商学部の商業研究と研究の中心にある。

ベンハー大学の視点

地元の、国家のおよび国際的な大学の間で優れた地位に達すること。

ベンハー大学の役目

ベンハー大学は、地域および全国のレベルで知識、教育、科学研究と地域奉仕活動ではその社会の責任を成し遂げることを約束します。


また、それは一般の価格でフレームで工業に情報テクノロジー、相次ぐ進展と連結を支持することを約束します。

ベンハー大学の価値観

良質な、知的な主要な発展、達成による管理、創造力と革新（責任と関与、インタラクションとコミュニティ参加）となる。

Strategic Plan of Benha University 2017 – 2022

ベンハー大学の戦略計画 2017 – 2022.



**2017 – 2022 年ベ
ンハー大学戦略
計画の目標**

Strategic Plan of Benha University 2017 – 2022

ベンハー大学の戦略計画 2017 – 2022.

図 (6)： 2017 - 2022 年、大学戦略的な計画の目標の概要と統計

第一目標：				
競争と創造力ができる優秀な学生と卒業生の養成				
第一目標の概要：				
<p>持続性発生と教育プログラム（教育）が更新すること必要性に、戦略的な計画の最初の目標は、関心を持つ雇用市場の必要条件についていくために戦略と評価とトレーニング技術を学ぶこと。</p> <p>名門の教育部門、学生の活動と世話に加えて創造力、革新と企業家に動機づけする環境を学生に提供することを、それも目指します</p> <p>この他、大学は学生に資格を与えるためにセンターを設立しようとして、社会の機関と協力して卒業します、そして、フォローアップする単位を起動させます次第に移ります彼らの競争と創造力能力を増やすことに貢献すること。</p>				
狙い	事業	目的	活動	千の原価
7	8	15	88	30250
第二目標：				
大学院での研究システムの品質と科学研究と創造力の倫理				

第二目標の概要:

大学院での研究、研究所、研究装置のものと大学科学的なジャーナルのために新しいアカデミックなプログラムを開発して、持ち出すことで、第2の目標に関する。

この目標も大学と学部で知的所有権の科学研究倫理と保護を適用することの重要性をハイライトします。そして、応用研究を通して研究生産の品質と工業と成人教育への効果的な参加を強化することに加えて科学研究と創造力の助けになる環境を提供します。

狙い	事業	目的	活動	千の原価
7	14	23		380090

第3目標:

社会の信託を得ること

第3目標の概要:

協会サービスと環境部門の（大学と学部で）計画の開発を展開すること、活動と統合を成し遂げるプログラムと大学とコミュニティの効果的優れた参加に、第3の目標は、発生の一因となるために、基本的に集中しています。

指導と科学研究を利用して、テクノロジーをコミュニティ、周囲の環境と工業のサービスへ移すことを通して、これはされます。

大学によって大学病院の品質の世話をし、家畜病院を発展させて、投資家の満足感に期待を持ってつながる魚

富と他の事業を拡張することのような社会に提供されるサービスによって、それも達成されます。

狙い	事業	目的	活動	千の原価
6	8	40	142	333050

第4目標:

組織のパフォーマンスと相次ぐ進展の品質を確実にすること

第4目標の概要:

リーダーの選択のはっきりした基準を確認して、大学で人間の幹部の能力を評価することを通して、第4のゴールは、組織のパフォーマンスの統轄を目指します。

それは、責任と技術の連続開発を成し遂げる必要性のために注意してモニターするための効果的仕組みのトランスペアレントなシステムと人的資源の能力を持ち出します。

発達して、大学を更新することに加えて管理のリーダーを優れた大学卒業生から造って、発達させることを、それも目指します最近の変化についていく管理で組織的構造。

それは、支持のすべての形を大学と政権（能力、アカデミックなプログラムと研究所）の公認のために、性質、発展とモニタリング装置にもたらしめます。

狙い	事業	目的	活動	千の原価
----	----	----	----	------

<p>第5目標: 財政的な資源を開発すること</p>				
<p>第5目標の概要:</p> <p>第5目標は、応用で学際的な研究に融資して、彼らを市場に出すことの資源をサポートして、変えます。</p> <p>これに加えて、それは、様々な連続自己源をつくることを捜して、大学の、そして、能力の任務を成し遂げる方向で財源の理想的な運用に加えて教育的な、研究とサービス・プロセスをサポートして、開発する自己努力を促して、狙いをつけます。</p> <p>さらにまた、このゴールは、提供者から資金を調達されたプロジェクトを得て、責任と透明度を成し遂げる、財政的でモニターしている定期刊行のレポートを準備することを捜します。</p>				
狙い	事業	目的	活動	千の原価
<p>第6目標: 大学の容量を増やすこと</p>				
<p>第6目標の概要:</p> <p>第6目標は、基盤（既存の教育機関の構造）を完成させて、大学と能力の必要を満たすために彼らを発育させるこ</p>				

とを保証します。

それも様々な教育機関を築くことを保証します、そして、学生の数の安定した増加に会うために彼らの能力を大きくするために遠くの学習システムと大学都市システムを開発して、導入することのそばに、部門はBenhaとE1-Obourで大学キャンパスに集中します。

狙い	事業	目的	活動	千の原価
----	----	----	----	------

第7目標:大学の国際的な位置を強化すること

第7目標は、戦略的提携を支持して、強化して、経験を国家のおよび国際的な名門の教育的な、研究とサービス機関と交換しようとしています。

それも、異なる国家のおよび国際的な分類で大学位置を強化する良い実施計画を作成することに加えて国際競争のために科学的なおよび研究活動とプログラムをサポートして、開発することを捜します。

もう一つの狙いは新顔の世話の単位を支持して、開発することを通して異なる国籍の新顔を引きつけることです。そして、備えて、世話プログラムを実施して、外部の仕事市場の必要によっていくらかの専門化において新しいアカデミックな/学際的なプログラムを持ち出します。

最後に、彼らに紹介されて、新顔を大学に引きつけることの重要性の認識を上げている部門を市場に出すことを

、それは目指します。

狙い	事業	目的	活動	千の原価
----	----	----	----	------

第8目標：デジタル大学

第8目標の概要：

第8目標は大学の情報と通信センターとネットワークの基本的な構造を開発することを保証します。そして、デザイン、ホスティングと国際的な仕様を楽しむために大学と能力の入口を更新することを開発することのそばに情報テクノロジーを使用することに対して統合した完全なコミュニケーション環境を提供します。

大学でeラーニング・センターを発展させて、学部でeラーニング単位の設立を拡大してならびに情報テクノロジーでは人的資源能力を高めることで、このゴールにも、関します。

さらにまた、このゴールは大学のデジタルコンテンツ（能力の図書館の機械化を完了して、国際的なデータベース・システムをアクセスできるようにして、エジプトのシンクタンクを使って、電子的に大学の科学的なジャーナルを出版することを通して）、大学の機械化と能力の政権を進めることを捜します。そして、大学を囲んでいるコミュニティのために情報テクノロジーで専門訓練計画を実施することによって入口とeラーニング・センターの自己もとを開発します。

狙い	事業	目的	活動	千の原価

表(7)：2017 - 2022 年大学戦略計画の目標、戦略的な狙いと事業

第1目標： 競争と創造力ができる優秀な学生と卒業生	
戦略的狙い	事業/ Initiation 創業
1 - 1 持ち出すことは、仕事市場とそのニーズの新しいものに対処する教育プログラムを識別して、作成しました。	1. 1. 1. 学生の能力に会う受理、配布と移動のシステムのためのダイナミックな方針。
1 - 2 発達することは、新しいものと仕事市場の必要を満たす教育プログラムを識別しました。	1. 2. 1 大学学部でアカデミックなプログラムと非伝統的人を紹介すること。
1 - 3 教育/学習戦略と評価とトレーニング技術を連続的にアップデートすること。	1. 3. 1 開発途上の教育/学習とトレーニング戦略と技術。 1. 3. 2. B. A. レベルで教育的なプロセスの効率を評価して、評価すること
1 - 4 創造力、革新	1. 4. 1 大学の、そして、Al-Bour

と企業家に動機づけする環境を提供すること。	の大学の枝の科学的な優秀さと創造力/革新のためにセンターを設立して、学生の革新、作品と企業家を強化すること。
1 - 5 学生を安心させる教育部門、学生の活動と識別された世話をもち出すこと。	1.5.1 アカデミックでサービス支持物と学生の活動。
1 - 6 仕事サイトの学生の、そして、卒業生の専門で実用的な技術を習得して、強化するために、6つの Establishing は中心にあります。	1.6.1. 社会の機関と協力して学生と卒業生に資格を与えるためにセンターを設立すること。
1 - 7 卒業生と大学と雇用適性セクターの関係を強化すること。	1.7.1. 大学の卒業生を追いかけるために単位を確立して、起動させること
<p>第2目標:</p> <p>大学院での研究システムの品質と科学研究と創造力の倫理</p>	
2 - 1 現在発達する	2.1.1. 大学院での研究と発育中の

<p>ことは、大学院生と発達している新しいもののためにアカデミックなプログラムを使用しました。</p>	<p>新しい非伝統的人のための開発されたプログラム。</p> <p>2.1.2 戦略とトレーニングと評価技術を教えて/学ぶために連続的に更新すること。</p>
<p>2 - 2 国家研究計画ならびに工業をインプリメントすることでの科学研究の効果的貢献と持続性発生。</p>	<p>2.2.1 国家研究計画についていく大学研究計画。</p> <p>2.2.2. 応用学際的な研究は、工業と連続進展に関するものでした。</p>
<p>2 - 3 環境を科学研究に対して提供して、それは創造力を刺激します。</p>	<p>2.3.1 科学的で技術的保育器を確立すること。</p>
<p>2 - 4 研究作品の収容力を増やすこと。</p>	<p>2.4.1 科学研究と国際的な出版のための基金と優れたものの誘因を支えること。</p> <p>2.4.2 大学の研究センターと研究所に資金を助成すること。</p> <p>2.4.3. 科学的な研究報告を市場に出すこと。</p>
<p>2 - 5 科学研究倫理</p>	<p>2.5.1 科学研究倫理を適用して、大</p>

<p>を適用して、大学とその学部で知的所有権を保護すること。</p>	<p>学とその学部で知的所有権を保護すること 2.5.2.</p> <p>1. 大学の知的所有権とその学部の権利を保護すること。</p> <p>2.5.3. 科学研究の倫理の実行のためのガイド。</p>
<p>2 - 6. 研究支援と研究所と科学的な器材の大学の単位を開発して、彼らを研究所と設備の全国センターに結ぶこと。</p>	<p>2.6.1. 大学で科学的な研究所と器材のものについて情報ネットワークを確立して、それを研究所と設備の全国センターに結ぶこと。</p> <p>2.6.2. 科学的な部門間のコミュニケーション・ネットと大学能力の中央研究所。</p>
<p>2 - 7 科学的なものは大学の（ウェブサイトと高度なインパクトファクターで）進歩させる</p>	<p>2.7.1. 国際科学的を出すことは、高度なインパクトファクターで分類する。</p>
<p>第3の目標： 社会の信頼を得ること</p>	
<p>3 - 1 社会福祉の開発途上の計画と投資家</p>	<p>3.1.1. 大学と社会福祉をするその能力からの活動とプログラム。</p>

を安心させる計画。	
3 - 2 開発において貢献のために大学と社会の間で統合と協同を成し遂げること。	3. 2. 1 社会的な参加と慣例の拡大と大学とその能力の異なる議会、委員会と協会の社会の党の増加している代表。 3. 2. 2. 発展途上の特別な単位（自己金融を増やすための単位）。
3 - 3 教育と科学的な研究と社会、周囲の環境と工業をつとめる技術。	3. 3. 1 工業のサービスのための教育的なおよび研究方法への優れた社会の参加。 3. 3. 2. 発展途上の魚豊富。
3 - 4 大学病院パフォーマンスの品質。	3. 4. 1 大学病院品質の標準の必要条件を一致させている医療とパフォーマンスを高めて、公認に適任であること。
3 - 5 大学病院の統轄。	3. 5. 1 大学病院で組織の管理を強化すること。
3 - 6 家畜病院の開発途上の仕事。	3. 6. 1. 獣医の医療を支持して、展開すること。
第4のゴール： 組織のパフォーマンスと相次ぐ進展の品質を確実にする	

こと	
4 - 1 組織のパフォーマンスの管理組織。	<p>4. 1. 1. リーダーの選択の基準と人間の幹部の評価している能力。</p> <p>4. 1. 2 責任のためのトランスペアレントなシステムとそのモニタリングのための効果的メカニズム。</p>
4 - 2 人的資源技術と能力のための成人教育。	<p>4. 1. 1 人的資源の技術と能力を高める訓練計画。</p> <p>4. 2. 2. 職務満足を評価すること。</p> <p>4. 2. 3. 管理のリーダーを優れた卒業生からつくって、発達させること。</p>
4 - 3 管理で構造改革。	<p>4. 3. 1 最近の変化でもつために管理で組織的構造を新しくすること。</p>
4 -4 大学とその政権（能力、教育プログラムと研究所）の公認の目的で品質、発展とモニタリン	<p>4. 4. 1 事業の政府部門、質的保障とその単位のセンター、大学とその能力のストラテジー計画部門を設立して、開発すること。</p>

<p>グ政権の4つの支援。</p>	<p>4.4.2 ISO001/2008 または新しいもののために大学と学部当局に資格を与えること。</p> <p>4.4.3. 公認のために大学、残りの能力、プログラムと研究所に資格を与えること。</p>
<p>第5のゴール： 財源を開発すること</p>	
<p>5 - 1 実用で学際的な研究報告に融資して、彼らを市場に出すことの支持で様々な資源。</p>	<p>5.1.1 学部で研究所と科学的な器材について情報ネットワークを確立して、大学で彼らを研究所と器材の単位に結ぶこと。</p>
<p>5 - 2 大学の、そして、能力の任務と狙いを達成する財源の理想的な運用。</p>	<p>5.2.1. 責任と透明度を成し遂げる財務報告と周期的なモニタリング。</p>
<p>5 - 3 変化して継続的な自身源をつくること。</p>	<p>5.3.1. 自己金融のもとをつくって、変えて、続けること。</p>
<p>5.4. 教育的な、研究とサービス・プロセスを</p>	<p>5.4.1. 教育的な、研究とサービス・プロセスに自己-融資する文化を広めること。</p>

サポートして、開発するための励みになる自己努力。	
5.5. 融資されることは、提供者から突出します。	5.5.1. 提供者から大学財政的な資源をサポートすること。
<p>第6のゴール：</p> <p>大学の容量を増やすこと</p>	
6 - 1 大学とその能力へのアクセスしやすさの増加している機会。	<p>6.1.1. Benha とアル Obour 枝大学の大学の必要を満たすために基盤を完成させること。</p> <p>6.1.2. Kafr Saad で教育的で業務用施設を大学キャンパスに建設すること。</p> <p>6.1.3. 既存の教育機関を築くことを完成すること。</p> <p>6.1.4. 建築は、教育で業務用施設とセンターを変えました。</p>
6 - 2 遠くの学習システムを開発して、	6.2.1 遠くの学習システムのアプリケーション

作成すること。	ョンを実装することにおける現在の傾向を概説すること。
6 - 3 大学都市のシステムを開発すること。	1. 3. 1 学生の数で安定した増加に匹敵する大学都市の能力を増やすこと。
<p>第7のゴール：</p> <p>大学の国際的な位置を強化すること</p>	
7 - 1 支援と戦略的パートナーシップと経験の国家的および国際的な名門の機関との交換を強化すること。	7. 1. 1. 他方、大学と国家的および国際的な教育的な、研究とサービス機関の間で戦略的パートナーシップを作ること
6 - 2 国際競争のために科学的なおよび研究活動とプログラムをサポートして、開発すること。	7. 2. 1 国際的関連した機関とともに共同の開発されたアカデミックなプログラムを作成して、実施すること。 7. 2. 1. 共同の研究は、国際的関連した機関とともに突出します。
7 - 3 つの研究は、異なる国家的および国際的な分類で集団を進めました。	7. 3. 1 ベースラインを確認して、実施を準備することは、国家的および国際的なランキングを改善することに対して計画を立てます。

<p>7.4. 異なる国籍からの新顔のために魅力的な大学。</p>	<p>7.4.1. 大学での新入学生のお世話部門を設立して、開発すること。</p> <p>7.4.2. 新顔を大学に引きつけることの重要性の認識飼育。</p> <p>7.4.3. 新顔のもののためにプログラムを作成して、実施することは、気にかけます。</p> <p>7.4.4. 外部の仕事市場の必要を満たすいくらかの専門化の新しいアカデミックで学際的な計画を設計すること。</p> <p>7.4.5. 部門が新顔に提供したマーケティング。</p>
<p>第8のゴール： デジタル大学</p>	

<p>8 - 1 情報テクノロジーを使用するための統合したコミュニケーション環境をつくること。</p>	<p>8.1.1. 情報と通信センターとネットワークの大学基盤を開発すること。</p>
<p>8 - 2 国際的な仕様による大学入口。</p>	<p>8.2.1 Cloud システム上で大学地域のホストをつとめること。 8.2.2. 大学と先入口のデザインを開発すること。 8.2.3. 設計、ホスティングと電子サイトを更新すること 8.2.4. Webmatrex で大学ランクを改善すること。 8.2.5.</p>

	入口の開発途上の自己資源。
8 - 3 eラーニングを開発すること。	<p>8.3.1 e-コースを延長すること。（彼らのアクセスしやすさと使用を強化する）</p> <p>8.3.2 新顔を引きつけるための大学の学習のために新しい戦略。</p> <p>8.3.3 大学でeラーニングに対する新しい戦略を採用すること。</p> <p>8.3.4 人的資源を発育させて、eラーニング・センターで労働者の有効性を強化して、学部でeラーニング単位の数を増やすこと。</p> <p>8.3.5 eラーニングの開発途上の自己供給源は、中心にあります</p>
8.4. デジタルコンテンツのシステムをアップグレードすること。	<p>8.4.1. 大学と能力の図書館の機械化を完了すること。</p> <p>8.4.2. 国際的なデータベース・システムにアクセスしやすさを強化すること。</p> <p>8.4.3. スタッフ・メンバー研究報告のためのデジタル保管所。</p> <p>8.4.4. エジプトのデータ・バンクの活発な利用。</p>

	<p>8. 4. 5. 大学の科学的な定期刊行物と彼らを近づきやすくすること電子出版。</p> <p>8. 4. 6. 大学職員メンバーと研究者の出版物を剽窃と照合すること。</p>
<p>8. 5. 情報テクノロジーでは人的資源能力を高めること。</p>	<p>8. 5. 1. トレーニングの有効性を改善することは、大学当局と学部集中します。</p> <p>8. 5. 2. 情報テクノロジーでは大学と学部職員の技術を強化すること。</p> <p>8. 5. 3. 最近のフィールドと情報テクノロジーのスタッフ・メンバーの技術を強化すること。</p> <p>8. 5. 4. 情報テクノロジーでは大学生の技術を習得すること。</p> <p>8. 5. 5. 大学を囲んでいるコミュニティのための情報テクノロジーにおける専門訓練計画を通しての大学のための自己資源。</p>
<p>8. 6. 大学当局と能力の仕事の機械化。</p>	<p>8. 6. 1. 学生的情勢の管理の機械化を完了すること。</p> <p>8. 6. 2.</p>

試験規制の機械化を完了すること。

8. 6. 3.

大学院での研究の管理の機械化を完了すること。

8. 6. 4.

スタッフ・メンバーの問題と文化的な情勢の機械化を完了すること。

8. 6. 5.

従業員の問題と財政の機械化を完了すること。

8. 6. 6.

大学都市の機械化。

8. 6. 7.

すべての大学で政権と能力を e アーカイブすることをインプリメントすること。

8. 6. 8.

管理のコミュニケーションのためにプログラムを使用すること。

8. 6. 9.

サービスと料金のために電子決済のためにシステムを作成すること。

8. 6. 10.

大学病院の機械化。

8. 6. 11. 品質保証センターの機械化と大学と能力の単位。

Strategic Plan of Benha University 2017 – 2022

ベンハー大学の戦略計画 2017 – 2022.